

スマートジャパンの運用状況について

日本優良成長株オープン(米ドル投資型)/(円投資型) 愛称 スマートジャパン
追加型投信/国内/株式

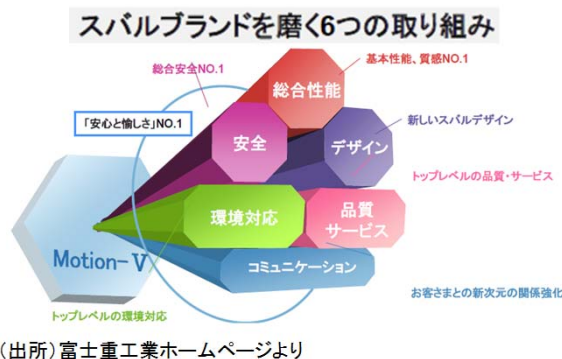
2014年11月18日

当ファンドでは環境性能や安全性能を高める技術を磨くことで、商品力の強化を図る自動車関連銘柄に着目し、組入れを高めております。

株式組入上位銘柄のご紹介

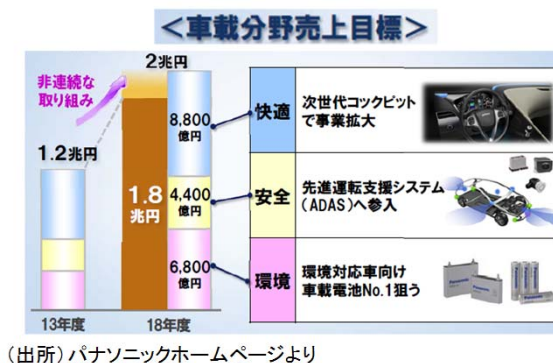
■ 富士重工業 (自動車)

走行性能重視の新車開発から、居住性・利便性・安全性などを重視した新車開発に転換したことで、商品力が向上。2014年度の販売台数や営業利益は過去最高を更新する見込みであることに加えて、円安メリットも享受できることから、営業利益率の持続的な上昇が期待できると判断。



■ パナソニック (民生機器)

M&A等を活用しながら、これまで十分活かしきれなかったセンサー、画像処理等の自社技術を自動車関連分野で開花させる取組みに注目。リチウムイオン電池も独自技術により競争優位性が高く、利益成長のドライバーになると予想。



株式組入上位10銘柄

(2014年11月17日現在)			
順位	銘柄	業種	組入比率
1	富士重工業	輸送用機器	3.8%
走行性能を重視する開発から、居住性・利便性・安全性などを重視する開発に転換することで、商品力が向上していくと判断。			
2	マツダ	輸送用機器	3.5%
原価低減施策や円安効果、高採算の新型車の比率が高まることでROEが改善。ブランド力の向上により、販売増が続くと予想。			
3	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	3.2%
企業の設備更新やM&Aの需要が拡大傾向。航空機リースなど収益性の高いビジネスも増加しており、ROEの向上が見込めると判断。			
4	住友不動産	不動産業	3.1%
ビル賃貸の空室率低下、マンション販売におけるコスト削減の効果により、営業利益率の上昇が期待できると判断。			
5	パナソニック	電気機器	2.9%
M&A等を活用しながら、これまで活かしきれなかった自社技術を自動車関連分野で開花させる取組みに注目。			
6	スルガ銀行	銀行業	2.8%
相対的に利回りの高いフリーローンが増加傾向。適切なリスクテイクを行うことで持続的なROEの向上が見込めると判断。			
7	トプコン	精密機器	2.7%
円安メリットや、建設工事向けの測量機の需要拡大により、ROEや営業利益率の向上が見込めると判断。			
8	大和ハウス工業	建設業	2.6%
相続増税対策を支えに賃貸住宅が堅調。ファーストリテイリング専用の物流倉庫を建設するなど物流事業も拡大。中期的に収益拡大が見込めると判断。			
9	トヨタ自動車	輸送用機器	2.6%
ハイブリッド車での価格競争力と、低燃費エンジンの大規模展開により、燃費規制が強まる中で優位性を高められると予想。			
10	日立製作所	電気機器	2.6%
グループ内での事業構造改革が進み、社会インフラと情報を軸とした戦略に転換。シナジーの創出により、営業利益率が高まっていくと予想。			

(※) 組入比率は、日本優良成長株マザーファンドの純資産総額に対する比率です。

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「日本優良成長株オープン(米ドル投資型)/(円投資型)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はおお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



日本優良成長株オープン(米ドル投資型)/(円投資型) 愛称 スマートジャパン
追加型投信/国内/株式

ポートフォリオの状況

ポートフォリオの概要

(2014年11月17日現在)

	米ドル投資型	円投資型
基準価額	11,360円	10,535円
設定来分配金累計	1,000円	500円
分配金再投資 基準価額	12,404円	11,029円

(※) 基準価額は1万円当たりです。
(※) 分配金は1万円当たり、税引前です。

(2014年11月17日現在)

	米ドル投資型	円投資型
株式組入比率	93.9%	92.0%
マザーファンド	100.6%	98.6%
為替予約比率	95.8%	---

(※) 株式組入比率は、日本優良成長株マザーファンドを通じた、株式の実質組入比率です。100%超は信託元本の変動により一時的に生じたものです。
(※) 為替予約比率は、純資産総額に対する円売り米ドル買いの外国為替予約取引額の比率です。

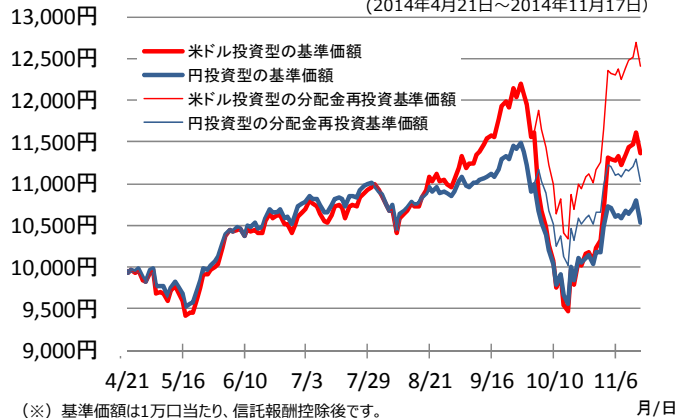
(2014年11月17日現在)

	日本優良成長株マザーファンド
株式組入比率	93.3%
組入銘柄数	63銘柄

(※) 株式組入比率は日本優良成長株マザーファンドにおける株式の組入比率です。

基準価額の推移

(2014年4月21日～2014年11月17日)



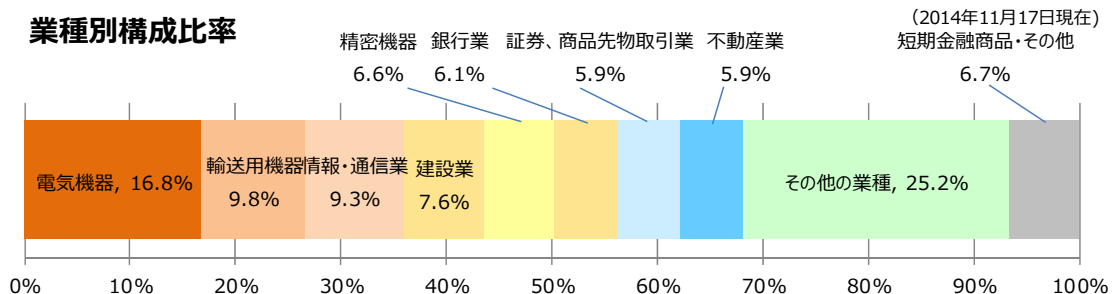
(※) 基準価額は1万円当たり、信託報酬控除後です。

(※) 設定日の基準価額は1万円当たりの当初設定元本です。設定日の純資産総額は当初設定元本総額です。

(※) 分配金再投資基準価額とは、設定来の分配金(税引前)を当該分配金(税引前)が支払われた決算日の基準価額で再投資したものと計算した基準価額です。

(※) グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

業種別構成比率



(※) 業種別構成比率は、日本優良成長株マザーファンドにおける、株式の組入比率です。小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合があります。また、その他の業種は、構成比率が5.0%に満たない業種について、合算したものです。

スマートジャパン ファンドの特色

- 日本優良成長株マザーファンドの受益証券への投資を通じて、主として、わが国の金融商品取引所上場（上場予定を含みます）株式のうち、収益性に優れ、成長の持続が期待される企業の株式に実質的に投資を行い、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。
 - 投資候補銘柄の選定にあたっては、主にROE（自己資本利益率）や売上高営業利益率などの収益性を表す財務指標の水準、方向性、変化等に着目します。
 - ポートフォリオの構築にあたっては、定量分析、定性分析、バリュエーション、業種別比率等を勘案して行います。
 - 株式の実質組入比率は高位を保つことを基本とします。
 - 「米ドル投資型」については、原則として円売り米ドル買いの外国為替予約取引等を行い、米ドルへの投資効果を楽しむことを目指します。純資産総額に対する円売り米ドル買いの外国為替予約取引等の額は、原則として高位とすることを基本とします。
 - 「円投資型」については、外国為替予約取引等を行いません。
- ※資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

(作成：株式運用部)

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「日本優良成長株オープン（米ドル投資型）/（円投資型）」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



日本優良成長株オープン(米ドル投資型)/(円投資型)に関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、国内の株式等価値のある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、「米ドル投資型」は、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
- ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「信用リスク」があります。
※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部戻戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
- ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファンドが投資対象とするマザーファンドを他のベビーファンドが投資対象としている場合に、当該他のベビーファンドにおいて追加設定および一部解約等がなされた場合には、その結果として、マザーファンドにおいても売買等が生じ、ファンドの基準価額に影響を受けることがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

＜お客様が直接的に負担する費用＞

- 購入時
購入時手数料：購入価額×購入口数×上限3.24%（税抜3.0%）
「米ドル投資型」と「円投資型」の各ファンド間でのスイッチング（乗換え）により、同一の販売会社でファンドを買付ける場合には、購入時手数料の一部または全部の割引を受けられる場合があります。
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時 換金手数料：ありません。
信託財産留保額：ありません。

＜お客様が信託財産で間接的に負担する費用＞

- 保有期間中 運用管理費用（信託報酬）：純資産総額×年率1.6632%（税抜1.54%）
- その他費用・手数料 監査費用：純資産総額×年率0.0108%（税抜0.01%）
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立替えた立替金の利息、借入金の利息等を信託財産でご負担いただきます。なお、マザーファンドの当該費用につきましては、間接的にご負担いただきます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

販売会社について

-2014年11月18日現在-

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融 商品取引業協会
(金融商品取引業者)					
今村証券株式会社	北陸財務局長（金商）第3号	○			
静岡東海証券株式会社	東海財務局長（金商）第8号	○			
西日本シティT証券株式会社	福岡財務支局長（金商）第75号	○			
播陽証券株式会社	近畿財務局長（金商）第29号	○			
水戸証券株式会社	関東財務局長（金商）第181号	○	○		

＜本資料に関するお問い合わせ先＞ 岡三アセットマネジメント株式会社 カスタマーサービス部
フリーダイヤル 0120-048-214（9:00～17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く）